

安心安全で魅力ある京都づくりのための 治水・地域振興策の推進について

【担当省庁】国土交通省

[淀川水系]

- 最優先の課題である桂川の治水安全度向上に向け、流域治水の考え方を踏まえ、河道掘削等の河川改修を更に推進していただきたい。特に、一の井堰の流下能力の向上については、引き続き国・府・市協力のもと、現河川区域にとらわれず、また井堰改築以外のあらゆる可能性を排除しない設計案を検討し、早期に着工していただきたい。
- しなで科手樋門（木津川）など、浸水実績を踏まえた樋門の新設・増強について、検討し実施していただきたい。
- だいがわ大戸川ダムについては、費用や効果を検証しつつ事業を進め、費用の縮減を徹底していただきたい。
- 淀川の舟運については、2025年大阪・関西万博を契機として、淀川沿川地域のにぎわいの創出を図るため、安定した航路の確保や船着場の整備をしていただきたい。

[由良川水系]

- 近年の豪雨災害の激甚化・頻発化に対応するため、由良川水系河川整備基本方針を変更いただいた上で、これまでの河川改修の進捗を踏まえ、流域治水型の河川整備計画へ早期に変更し、切れ目なく対策を進めていただきたい。

【現状・課題等】

- 淀川三川で最も治水安全度が低い桂川の改修促進は喫緊の課題であり、特に嵐山地区の改修は、上流の府管理区間の改修にも大きく影響する。
- 嵐山地区の一の井堰の改築は、現在の堰管理者や景観等の専門家から意見聴取を行っており、意見を踏まえた設計案の具体化が必要である。
- 令和3年の淀川水系河川整備計画変更により、大戸川ダム建設事業について本体工事などの着工に向け、調査などを行っている段階であり、費用縮減を徹底した設計を行う必要がある。
- 淀川の舟運については、
 - ▶水深不足により船の乗り換えが必要
 - ▶流れの急変により航行が不安定となる箇所が存在
 - ▶岩場や粘土質の川岸での乗り降りが必要などの課題があるため、安定した航路の確保や船着場の整備が必要である。

| | |
|---------------|-------------------------|
| 京 都 府 の担当課 | 建設交通部 河川課(075-414-5282) |
|---------------|-------------------------|

■国により、全国の一級水系について、気候変動に対応するため河川整備基本方針の変更が進められている。由良川水系においては、平成25年策定の河川整備計画に基づき整備を行ってきたが、その後も度々浸水被害が発生している。治水安全度を更に高めるため、早期に、河川整備基本方針を変更したうえで、ハード・ソフト一体の流域治水の取組を進めるべく河川整備計画を変更し、治水対策を進める必要がある。

【国の事業等】

■治水事業〔国土交通省〕 13,297億円（令和4年度補正含む）

【京都府の被害状況】

■京都府の近年の浸水被害状況

| | | H24 府南部豪雨 | H25 台風18号 | H26 8月豪雨 | H29 台風18号 | H29 台風21号 | H30 7月豪雨 |
|--------------|------|------------------------|------------------------------|--------------------|-----------------------------|-----------|--------------------------|
| 被害 状況 | 床上浸水 | 906棟 | 1,482棟 | 1,835棟 | 130棟 | 335棟 | 539棟 |
| | 床下浸水 | 2,378棟 | 3,326棟 | 2,716棟 | 1,119棟 | 516棟 | 1,734棟 |
| 浸水被害発生 河川 | | 弥陀次郎川(天井川)、古川、志津川、堂の川他 | 直轄由良川・桂川、安祥寺川、四宮川、堂の川、鴨川、桂川他 | 弘法川、法川、榎原川、大谷川、八田川 | 相長川、竹野川、小西川、福田川、新庄川、滝馬川、筒川他 | 直轄由良川、高野川 | 直轄由良川、高野川、伊佐津川、竹野川、佐濃谷川他 |

■内水による浸水状況

- ▶ 八幡市街地：床上浸水30戸、床下浸水856戸（平成25年台風第18号）
- ▶ 由良川沿川：床上浸水215戸、床下浸水302戸（平成30年7月豪雨）

■洪水時の河川の状況



平成25年台風第18号
桂川洪水状況（京都市嵐山）



平成25年台風第18号
由良川洪水状況（福知山市河守）